

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県大館市片山町 3 丁目 1-56
名 称 特定非営利活動法人工房 J O Y さあくる
代表者 理事長 鈴木 千里

特定非営利活動法人工房 J O Y さあくる

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

すべての障がい者に社会参加の場を提供することを目標とします。
当施設の自主事業は環境に配慮したものとする事を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 初回登録年月日：R3 年 11 月 19 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☐ 経済 ☐ 社会 ☒ 環境	リサイクル製品の積極活用、意欲的にリサイクル製品の開発に注力します。	リサイクル製品をはじめ、環境に配慮した商品の開発に努力します。 (2022 リサイクル粉石けん→2030 粉とジェル石けん販売)	廃食用油で作るジェル石けんの販売を目指しています (2023→2024)	3・6・7
☐ 経済 ☒ 社会 ☐ 環境	障がい者が地域の中で、健康的で安心して社会参加できる場を作りたいと思います。	私たちの施設の利用を通じ、障がい者の自立が進むことに努力します。 (2022→2030)	施設の利用を通じ、積極的に社会参加出来るよう支援しています。 (2023→2024)	7・12・13
☒ 経済 ☐ 社会 ☐ 環境	自主事業の柱をエコに置きたいと考えます。環境に優しい製品を開発し、施設利用者の工賃を向上させることに努力します。	現在取り組んでいる事業を一層環境に配慮したものとし、地域の中でより多くの方々に利用していただくことに努力します。 (2022→2030)	イベントへの参加や HP のリニューアルで、リサイクル事業を知ってもらい販売量の増加を目指します。 (2023→2024)	16・17

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	